

大正 6 年 3 月



1938

[illegible]

注 釈

「共同蔵」は、恐らく現在の丸端の大師堂付近にあつた白壁土蔵のことかと思うが、この土蔵は明治十四年に新築したとの記録があり、それから三十六年後の大正六年に「移転」ということにはなるまい。

その土蔵は昭和三十年当初頃まで存在したので、どこからかそこへ、或いはその土蔵からどこかへ蓄蔵物を移転した際の勤労奉仕「村普請」（今でいうところのボランティア）の記録だと思ふ。

また、「寄附人夫表」とあるし、金額の表示がないので、「拾人七分」とか「壹人四分」などの表現は今でいうところのMH（マンアワー）だとは思いますが、数値の評価概念がよく分からないし、記載順は五十音でもないしMHの多い順番でもないようだ。

このような記録が後世に伝えられ、百三年ぶりに目の目をみても凡才の輩は理解に窮するのだが、掲載されている方々はたしかにこの村（海吉出村）の住人であつたわけだから、特にその子孫の諸賢におかれては、ご先祖の徳行をどうか解明していただくよう、心から期待する。